

平成31(2019)年度 江戸川区立葛西第三中学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	よく学び、よく考える自主性のある中学生（自発）	目指す学校像	1. 生徒が自ら考え、主体的に学び、確かな学力を身につけさせる学校
	心身ともに健康で礼儀正しい中学生（礼儀）	目指す生徒像	2. 生徒の自尊感情を育むと共に何事にも立ち向かっていく強い意志を持たせる学校
	規律と責任を重んじ、よく働く中学生（責任）	目指す教師像	3. 生徒一人一人が充実感・満足感を体感し一人一人が輝くことができる学校 1. 自分で考え、主体的に学び、判断し行動できる生徒 2. 心身共に健康で何事にも前向きに取り組み、輝いている生徒 3. 豊かな情操を持ち、社会性のある生徒
前年度までの学校経営上の成果と課題	<p><成果> 教員一人一人が自己研鑽に努め、互いに協働して業務を行っている。授業に関しては教科部会を充実させて授業力向上を目指し、生徒の学力も着実に伸びている。学校行事では生徒の主体性を尊重し、生徒が自ら進んで活動に取り組む教育を行っている。部活動でもそれぞれの種目において成果を挙げている。</p> <p><課題> 新学習指導要領の全面实施に向けて準備を進めていく。特に、道徳の授業の確実な実施と評価・特別支援教育の充実に向けての校内体制の確立・ICT機器の有効活用について計画的に研修を行い、実践していく。</p>		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・小中連携協議会 ・挨拶運動・中学校訪問の実施	・年2回、授業見学・協議会を実施する。 ・学期に1回、児童・生徒の交流を図る。	A	A	・授業見学・協議会を計画通り実施し、教員間の意思疎通を十分に図ることができた。 ・学期に1回、各小学校にて挨拶運動を実施し、活動が定着した。	A	地域行事の「新田フェスティバル」においても小中学生の交流があった。	教員間の情報交換等を密に行い、小中連携教育を一層充実させていく。
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	・ICTに関する校内研修を年3回実施	・全教員がICT機器を活用した授業を学期に1回は行う。	A	A	・校内研修会でICT機器活用の実践例を数多く共有できた。 ・ICT機器を活用して授業を行う教員や活用する機会が増えた。	A	ICT機器を活用する授業が増えた。引き続き、生徒の興味・関心を惹くような授業を進めていってほしい。	プロジェクターを有効活用できるよう研究を進めるとともに環境整備を行っていく。
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	巡回指導教員・学校心理士との連携	巡回指導教員との連絡会を週1回、学校心理士との連絡会を月1回実施する。	A	A	2学期には巡回指導教員・学校心理士との合同連絡会を実施した。	A	個別の指導計画に基づいて生徒一人一人に適切な支援をしている。	特別支援教室の環境を整え、充実を図る。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	・定期的な補習の実施 ・校内研究授業の実施	・全国・都学力調査で都平均を上回る。 ・年3回研究授業を実施する。	A	A	・全国学力調査では数学以外、都学力調査では理科以外のすべての教科が都平均を上回った。 ・文系・理系・実技系に分かれて研究授業を実施し、協議会を充実させることができた。	A	授業を受けている様子はとても落ち着いている。学力を定着させるために家庭学習にもしっかりと取り組ませることが必要である。	家庭学習の充実を含め、基礎学力をしっかりと定着させる工夫を検討し、学力向上プランを推進していく。
	読書力の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	・読書力の年間計画の作成・実施	・読書活動を充実させる。 ・全学年でピリオドを実施する。	A	B	・ピリオドの取組を通して課題発見や解決への意欲・情報収集能力・表現力が身に付いた。 ・学校図書館活用を充実させる必要がある。	A	本や新聞を読む習慣を中学校で身に付けさせてほしい。	学校図書館司書と連携し、活用の充実を図る。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・補充運動の実施 ・部活動の活性化	・保健体育の授業の最初に補充運動を取り入れる。	A	A	・補助運動の取組は定着した。 ・部活動に積極的に取り組んでいる生徒が多い。	A	運動会で一所懸命頑張っている生徒の姿を見ることができた。部活動も盛んである。	部活動指導を一層充実させる。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	・ボランティア活動参加の奨励 ・国際理解教育の実施 ・オリパラアスルトの講演	・ボランティア活動の意義を生徒に伝え、参加生徒を増やす。 ・外国人との交流の機会をもつ。	A	A	・「なぎさ楽苑」でのボランティア活動に多くの生徒が参加した。 ・オリパラアスルトを招いて講演を行った。	A	オリパラに向けて、さらに盛り上げていってほしい。	今までの取組をより充実させ、東京オリンピック・パラリンピックへの気運を高める。
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	・ALTを効果的に活用した授業の展開	毎回の英語の授業でアクティビティを取り入れ、表現力の向上を図る。	A	A	アクティビティが充実し、生徒が英語で自己表現できるようになった。	A	学芸発表会での英語での発表が素晴らしかった。	アクティビティを充実させ、表現力の向上を図る。
健全育成活動の推進	健全育成の充実	生徒の生活習慣や情報モラル意識の向上	・基本的な生活習慣の確立 ・情報モラルについての指導の徹底	・早寝早起き朝ごはんを習慣付ける。 ・学期に1回情報モラルについて家庭で話し合う機会をもつ。	A	A	・家庭との連携により健全な家庭生活を送らせることができた。 ・SNSの適切な使用方法の徹底指導により、トラブルを回避した。	A	地域での様子を見ていると、生徒が健やかに成長していると感じる。	情報モラルの遵守について継続して指導していく。